



栃木県生協連

2012年度6月定例報告

2012年6月12日

栃木県連 専務 鎌柄

(1) 5月活動日誌

日付	曜日	予定
5月1日	火	栃木県地産地消実行委員会幹事会
5月7日	月	うつのみや食育フェア実行委員会、消費者ネットワーク幹事会
5月8日	火	県連常務理事会、国際協同組合年ワーキングチーム会
5月10日	木	宇都宮市役所での消費者団体の啓発展示
5月11日	金	栃木労生協総務委員会
5月14日	月	宇都宮市消費者団体連絡会
5月15日	火	ふれあいお茶会
5月16日	水	地連大規模災害対策協議会、県総合防災訓練全体会
5月17日	木	食の安全ネットワーク・全体会、(仮)食の安全安心とちぎ消費者セミナープロジェクト会議
5月18日	金	協同組合まつり実務担当者会議、県元気な森づくり県民会議
5月19日	土	いわき仮設でのお茶会
5月22日	火	県連理事会
5月23日	水	県くらし安全安心課サポーター研修会
5月25日	金	栃木県労福協定期大会、福祉センター総会、栃木労生協総代会
5月26日	土	協同組合学会春季大会、事業団総会
5月27日	日	フェスタマイうつのみやでの消費者啓発活動協力
5月29日	火	とちぎ暮らし応援会総会&シンポジウム
5月30日	水	県消費者のつどい
5月31日	木	県社協災害ボランティアネットワーク会議

(2) 5月活動の概況

(会員の動き)

5月に入り会員が総代会の時期を迎えている。大学2（宇都宮大学、足利工業大学）生協や職域2（栃木県農協連職員、ブリヂストン那須グループ、栃木県労働者消費）生協、とちぎ労働福祉事業団の会員総（代）会が開催された。大学生協は新入生を迎える3～4月を重視する意味から2月が決算期で、5月総代会としている。宇都宮大学消費生協では、秋元専務（千葉大学生協へ異動）から渡辺専務（茨城大学生協から異動）に役員が交替された。

(宇都宮市内と福島県で避難されている方々のふれあいお茶会)

5月15日ふれあいコープの特養みどりで、福島県から宇都宮市内に避難されている方々に対する第9回目の「ふれあいお茶会」が開催された。今回は21名の方（内浪江町の方10名、大熊町の方2名、双葉町5名、相馬市の方1名、南相馬市の方1名、

福島市の方1名、須賀川市の方1名、飯館村の方1名、福島県の方2名、ぽぼらの方1名、スタッフ関係者の方14名（とちぎコープ、よつ葉生協、NPOウィズ、ふれあいコープ、県連）の参加があった。お子さんの参加も1名あった。「ここに来た日は心が晴れる。ここに来ると気持ちがなごむ」などの声が出されている。福島県行政からの資料提供もされた。

（いわき市四倉中核工業団地内仮設でのお茶会）

いわき地域絆づくりセンターが平成23年度での終了に伴い、四倉工業団地の仮設の管理人さんに事前にチラシをまいて貰い、5月19日朝特養みどりに集合、高速を使い車2台、有志10名でいわき市四倉町に向かい仮設でのお茶会を開催した。事前の準備や当日早朝から昼の軽食等の準備をしたりと理事の皆さんに準備をいただいた。卵を使ったポップ入れ（エッグポマNDER）づくりを行い、女性の皆さんに好評だった。

11時～14時位の約3時間を16名の方が来られた。継続で参加されている方、新しい方を交えて、ひと時の交流の場となっている。

（EAST LOOPへのご協力をお願い）

岩手、宮城など被災された方々が製作されているハートブローチ、約500ヶの普及が進められた。会員でも組合員さん向けに宅配や店舗での普及が始まっている。

（食の安全課題の関連）

5月17日とちぎ食の安全ネットワーク全体会では、2011年度の取り組みの振り返りと2012年度計画案が確認された。また、県との自主的な協働事業である「食品安全セミナー」が6月20日、7月4日と県内2会場で大きな規模で実施する計画があり、成功に向けて県生活衛生課、市生活衛生課の方を含めて意見交換がされた。

2012年度計画の中には、栃木県の（仮）食の安全安心とちぎ消費者セミナーの受託事業の推進方針があり、県内15会場でのセミナー実施に向けてプロジェクト会議も開催し、具体化に向け検討が始まっている。

（消費者課題の関連）

5月7日消費者ネットワーク幹事会では、2012年度計画案が基本的に確認された。杉原代表から提案された市町での消費生活条例の策定の促進のためにネットワークのメンバーが内容の理解を深め、自治体に提案して行く為、試案をつくり働きかけていく方向性が確認された。

また、5月は「消費者月間」でもあり啓発行事が県や市で行われた。5月10日は宇都宮市役所ロビーでの消費者ネットワークの啓発展示。5月18日は、雨の中JR宇都宮駅頭でのチラシ配布を県・宇都宮市・ネットワークのメンバー約20名で行われた。27日には「フェスタMY宇都宮」では、宇都宮市消費生活センターが啓発を行うのに協力をした。

（国際協同組合年）

協同組合まつり実務担当者会議

5月18日最後の実務担当者会議を、単位のJA含めて開催された。マロニエプラザでの出展ブースの確認、出展内容の確認、メインステージでのプログラム、まつりの全体運営のスタッフの協力要請も行った。出展は県行政含めて、36団体、約50ブースになり、県内の協同組合が一堂に会する場になる。

国際協同組合年県連ワーキングチーム会

12日国際協同組合年のワーキングチーム会第9回目が開催された。協同組合の役割と未来」第2章の学習では、「全国中小企業団体中央会、全国信用組合中央協会編」について栃木県職員生協の中村良子総務企画課長からの報告と意見交換が行われた。学習としては協「同組合の源流について」報告を宇都宮大学農学部原田淳准教授からいただき、引き続き意見交換が行われた。次回から「協同組合憲章草案のめざすもの」について、報告者を決め、意見交換しながら理解を深めていくこととした。

(行政・他団体との協働)

5月30日県主催の「消費者のつどい」が開催され、全国消団連の阿南事務局長が「安心して暮らせる地域づくりを消費者自身の力で！」というテーマで基調講演をされた。講演に先立って表彰式が行われ、消費者庁長官表彰として「ベスト消費者サポーター章」を栃木県生協連が受賞した。消費者ネットワークで協力いただいているNPOとちぎ消費生活サポートネットも同章を受章された。



(入内澤県民生活部長から表彰を受ける竹内会長)

(3) 5～7月の課題

1. 5～7月部会・委員会活動の推進
2. 5～7月ネットワーク活動（食の安全ネット全体会、消費者ネット全体会）推進
3. 2012年国際協同組合年栃木県実行委員会「協同組合まつり」の準備と成功
5. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 県連総会の準備と成功

(平成24年度上期・栃木県・関係団体等関係行事の事前のお知らせ)

栃木県・とちぎ食の安全ネットワーク共催

「食品安全フォーラム」県内2会場で開催

- ・日 程 6月20日(水) 13時半～16時半
- ・会 場 那須塩原市 三島ホール
- ・日 程 7月 4日(水) 13時半～16時半
- ・会 場 栃木県総合文化センター・サブホール
- ・テーマ 放射性物質と食品の安全性について

国際協同組合年栃木県実行委員会主催「協同組合まつり」

- ・日 程 6月23日(土) 10時～15時
- ・会 場 マロニエプラザ
- ・内 容 展示・販売など約47ブース
- ・スローガン ‘みんなでつなごう、協同組合の輪!’
(国際協同組合年スローガン:「協同組合が、よりよい社会を築きます」)

栃木県生協連「第43回通常総会」

- ・日 程 6月29日(金) 14時～
- ・会 場 とちぎ福祉プラザ・3階福祉研修室